

板野中学校 同和教育だより

MY SKY 第1号

マイ・スカイ

2001年4月24日(毎月第1・第3火曜日きまぐれ)発行

㊦(^ 0 ^)㊦

発行者

編集・文責
剛吉成正士

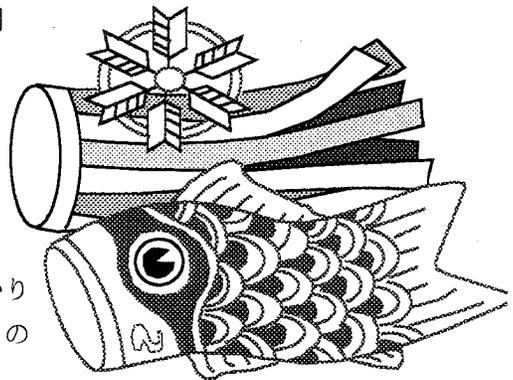
こんにちは！2・3年生のみなさんには『お久しぶり！』、1年生のみなさんには『はじめまして！』ですね。始業式、入学式、身体測定や一週間ほどの授業、授業参観など、めまぐるしい毎日ではなかったでしょうか。もう新学年、中学校生活には慣れましたか？今年も一年間、「マイスカイ」を通じて同和教育に関する学校内外のいろんな情報を発信していきたいと思っている、担当の吉成です。どうぞよろしくお願いま～す!!



◇ ああ、みんな1学期を廻り始めよう!! でもまずは、「家庭訪問」

あわただしく始まった2001年度。いつの間にか、今週末にはゴールデンウィークが始まるようとしてます。早いですね。そして明日、水曜日からは家庭訪問……。

今からちょうど10年前に板野中学校に赴任した年、私は1年生の学級担任をしていました。今年と一緒に、当時間も元気いっぱいの1年生ばかりでした。そんな活発で笑顔いっぱいの教室に行くのが、毎日本当に楽しみでした。



その年も、今年同様家庭訪問がありました。初夏の陽射しの中、学級の生徒たちに連れられて一軒一軒まわっていくのです。そして他の家と同じように、私はその家に入ったのです。

初め私は、お母さんと二人でたわいもない話をしていました。でもそのうちお母さんは、自分が被差別部落出身だということを話してくれるようになりました。その話はすぐには終わりませんでした。まだまだ勉強不足な当時の私に、返せる言葉はわずかでした。それでもお母さんは、子どもの頃のこと、学生時代のこと、大人になってからの被差別体験のことなどを、必死になって話してくれました。話の途中で、お父さんが仕事から帰ってきました。それでも話を止めようとはしませんでした。お父さんも横に座って、お母さんの話をじっと聞いていました。ひとしきり時間がたった後、なぜかお母さんに少しだけ笑みがこぼれました。そしてその笑顔は、すぐにお父さんや私にもうつりました。三人のまわりの空気が、ホッと優しくなった感じがしました。

私は、こんな家庭訪問を経験したのは初めてでした。でも、本当にステキな家庭訪問だっ

たと今でも思っています。そしてこの家庭訪問から、家庭訪問に対する私の見方がだんだん変わってきたように思えます。成績のことや学校生活、家庭生活のことを話すのも大切でしょう。でも、もっと大切な話というのは、

「今までどういう思いで生きてきたのか」

「今までどういう思いで子どもを育ててきたのか」

「子育ての中でどんな苦労や悩みがあったのか」

「これからどんなにふうに育てほしいのか」

じゃないかなと思えるのです。こんなことについて保護者と先生が語り合えたら、どんなにステキなことでしょう。子どもをどう育てたいのかということが分かり合えれば、互いに協力することもできますもんね。

でもそんな大切な話、20分や30分なんかで話さきれません。その時は、今回の家庭訪問をきっかけとして、また繰り返しいろんな機会に互いに話せばいいんじゃないかなと思うのです。ちなみにこのときの私の場合は、家庭訪問後もこの家族とは仲良しで、今でもことあるごとに親交を深めることが度々です。本当にありがたいものです。

さて、余談になるかもしれませんが、家庭訪問後の1学期の予定について少し触れておきます。

○5月……バス遠足、体育祭、中間テスト

○6月……部落問題意見発表会、期末テスト、板野郡総合体育大会というふうに、いろいろな行事が目白押しです。それぞれが、仲間づくりのチャンスともいえます。

そしてまた、学習会でも次のような行事を予定しています。

○4月中心……1年生の家庭訪問

○5月から……2・3年生の家庭訪問

○6月?……保護者会

しかしなんといっても、夏休みの三大大行事「板野町小・中合同学習会一泊研修」「徳島県学習会中学生集会」「解放子ども会一泊研修」に向けた取り組みを、日頃の学習会で地道に行っていきたいと思っています。

学校のいろいろな行事にしても、学習会の夏の行事にしても、生徒のみなさんが主役になることに変わりはありません。だとすれば、前に述べた「保護者から子どもへの思い」「先生から生徒への思い」を互いに知って臨むのと、知らずに臨むのとでは、多少なりとも違いが出てくるように思えます。

そんなことが少しでも出てくる家庭訪問にしてみませんか？



新しい学年から見つめ直しを……「おぼせつ」

「新しい学年となった今、何をみんなで読み合いたいかなあ……」と考えてすぐに、「礼が遠くなる」という文章を思い出しました。今は亡き元嶋島第一中学校の校長先生をされていた佐藤文彦先生の文章です。どうしてか、あらためて読んでみたくなっただけですよね～。

礼が遠くなる

私の家から学校までゆっくり歩いて十五分。生徒たちの一番登校の多い頃をみはからって、家を出ます。大半は自転車通学で、次々と私を追いこしていく後から、一人ずつ、「お早よう」と声をかけるのです。時には、一列に並んだ自転車が十台、十五台と続くことがあります。それでも一人ずつ十回、十五回連続して、声をかけていくのです。

毎朝そのことを繰り返していくうちに、いつの頃からか、私の背中で声がするようになります。「お早ようございます」とさわやかな声をかけながら、走り過ぎていきます。それにまた、「お早よう」とこたえていくのです。

野球部の生徒たちは、特に、よくあいさつをしてくれます。朝でも昼でも夕方でも「こんにちは」です。私もおなじように「こんにちは」と言葉を返してやるのです。

六月のある日の放課後、グラウンドに沿った下校道を歩きながら見ると、生徒たちはグラウンドいっぱいになって運動していました。ふと、遠くの方で帽子をとっておじぎをしている生徒が目にはいりました。練習中私の姿をみつけたのでしょうか。礼をすると、また走り出しました。私が気づいていようがないですが、その生徒にとってはどうでもよい様に見えました。それが誰であるかはっきりしないのですが、私は大きな声で、手を振りながら「サヨナラ」と言ってやりました。すると、グラウンドにいる生徒たちが一斉に私をみて、手をふってくれました。

それから数日後の生徒集会で「心ゆたかになれば、礼が遠くなる」と話をしたら、その日の放課後が大変でした。部活動をしている野球、ソフト、サッカー、陸上の生徒たちが私の姿を見つけては頭を下げ、見つけては頭を下げるのです。女子ソフト部の生徒たちは、ごていねいに声をそろえて「校長先生、サヨナラ」とやるのです。私の帰りを待ちかねていたかのように、茶目っ気なところをチョッピリ見せて、親愛の情を寄せてくれるのでした。

一中生はおじぎをしないという、他校の先生方の悪評は、この頃になると消えてしまっていて、学校にみえる誰からも「よくあいさつのできる生徒たち」とほめていただくようになりました。「どうして、このように……」とたずねられた時、「いや別に……親しみをこめて声をかけていっただけです」と答えるほかありませんでした。

私が一人ひとりの生徒に声をかけていったのは、単に「あいさつのできる生徒」をつくることではなかったのです。いつも黒崎学級の生徒たちへの思いがありました。生徒一人ひとりと私とが共感の「絆」で結ばれたとき、はじめて黒崎学級のことを、生徒たちに話すことができる、という思いがありました。生徒たちと私が同じ人間として、対等に話し合える状況がなければ、黒崎学級の悲しみがわかってもらえる土台もないのです。あいさつとは人間への尊敬であり、信頼と愛情なのですから——。

だから、私が生徒より先に声をかけたって、おかしくはない。お互いがお互いを尊敬するから、あいさつがかわし合えるのです。

「校長先生の言うことは間違いない」と、生徒たちに信頼される日まで、私は、自らを生徒たちの前にさらしながら、自らを高めていかねばならぬと思ってきました。

(佐藤文彦著「人間の生き方と同和教育」より)

先生の書かれた本「人間の生き方と同和教育」が、私の手元にあります。数少ない大好きな本の中の一冊です。実はこの本を手渡してくれたのは、私の父でした。今まで何度も刃向かい、反抗ばかりしてきた私に、ある時手渡してくれたのでした。そしてこの本を読むことで、少し父に素直になれそうな気がしました。父の読んだ本を、自分もまた大好きになったということが、父との距離を縮めてくれたのだと思います。佐藤先生が、佐藤先生の書いた本が、私たち親子の絆をあたたかい血の通ったものにしてくれたように思えるのです。こんな親子を、佐藤先生は天国からどんなに見てるのでしょうか……。

今年から板野中学校でも「朝の読書」が始まりました。無理強いはいらないという中で始まった「朝読」です。この時間をどう使うかは、みなさん次第です。でも、昨年までとは違い、何か朝の空気がやわらかくなったような、そんな気がします。



■ **お願い** さて、今までもマイスカイは、生徒や保護者のみなさん、先生方が参加できるようにと考えてきました。しかし今年は、それをさらに強めて、「みんなで作りあげられるようにしていきたいなあ」と思っています。単なる「参加」から「みんなで作りあげる」に変えていこうと思っているのです！ そのためには、読者のみなさんのいろんな意見や感想・原稿が必要となってきます。生徒・保護者のみなさん、先生方、是非ご協力をお願いいたします！！



4月25日(水)～5月 2日(火) 家庭訪問(午前中3時間授業；給食あり)
 5月 5日(土) 人権フェスティバル(13:30～16:00；板野町文化の館)
 『津軽三味線コンサート、道上洋三講演会、子どもゲーム大会他』
 9日(水) バス遠足